



Eco Car Festa 2007

エコカーフェスタ2007
協賛依頼書

TWO & FOUR

開催にあたり・・・

地球温暖化が見えてきた...

環境保全により地球再生計画が発動され、はやくも25年が過ぎ去ろうとしています。当初は、その良結果を見せるにも、やはり最低25年は必要であろうと知識人は答え、数多くの提案を団体がまた個人が実行してきました。しかし、それ以上に中国、インドなどの途上大国の経済発展にともない、エネルギーの大量消費による地球温暖化はその影響をはっきり見せてきました。両極の氷がとけはじめ、その冷たい海水は海流の流れを変え、世界各地で過去に言われた異常気象をもたらしています。超大型台風、想像もつかない進路、南国の島々は水没を始め、近ごろの多い地震さえももしやと思える様になりました。身近な周辺でもスノーボードやスキーが出来ない、コートはもういないなどと聞かれる様になりました。この様な時こそひとりひとりが環境問題を考え、ひとりひとりに出来る何かを実行に移す事が大切です。環境意識の関心向上は無論の事、低公害車の研究開発や大量普及、そしてもの作りからの環境教育、そして環境の原点であるゴミゼロ宣言を行い、それらを目的に開催いたします。



ECOプロデューサー

芦田 隆

エコカーフェスタとは？

ECO CAR FESTAは、2000年より開催された湖国ソーラーカーEVカーフェスタin湖東（滋賀県湖東町）の流れを受け2002年に大阪・舞洲スポーツアイランドで産声を上げた。初開催の舞洲では、その地形（軽滑走路）を利用したレイアウトで、同時に2つのイベント（コース）が並行して行われた。ソーラーカー部門は、朝日ソーラーカーラリーや鈴鹿ソーラーカーレースに参加しているチームの参加により、2日間わたるエンデューロレースが行われ、長時間によるバトルを芦屋大学ソーラーカープロジェクトが見事優勝の栄冠に輝いた。また高校生の部は堺市立工業高校が見事に優勝に輝いた。そしてこの年より、ついに全国的なシリーズ展開としてワールドエコノムープGP（通称・WEM）がスタートした。このシリーズは定められたバッテリーで規定時間内に如何に遠くまで走る事が出来るかを競う競技形式で行われ、ボディはミニバンなどの1BOX車に積載できる程度の大きさという事もあり、この競技の発祥地である秋田大会から爆発的な台数を誇るシリーズとなった。クラスも社会人や大学研究室などTOPカテゴリーのGPクラス（2時間レース）と高校生などが対象となるEJ・E0レース（1時間レース）に別れ、GPレースはチーム・ヨイショット“ミツバ”が、E0・EJレースでは愛知県立佐織工業高校がECO CAR FESTAの初代ウィナーとなった。白熱した戦いが繰り広げられた。その他世界初となる燃料電池を搭載したラジコン大会や毎年盛り上がりを見せている「関西エコノパワー」なども行われ、盛況に終了した。そして、昨年度2004年は会場が滋賀県の湖東町に戻っての開催となり、クレフィール湖東（安全運転研修センター）の外周路2コースを使用した、2イベント同時進行のレース展開が行われた。WEMレースもシリーズ2年目を向かえ、各車熟成を重ねており、クレフィール湖東独特の傾斜のあるオーバルコースを激走。E0・EJレースはメカターとるん2号チームの「たーとるん」がGPレースはつばさ53号チームの「first step ASIAN AW」が優勝した。そしてソーラーカー部門はラリー・ジムカーナ・レースの3種目によるポイント制となり、3種混合元年は名古屋工業大学ソーラーカー部が見事優勝に輝いた！特にソーラーカーのレースは異次元の速さを見せた事を付け加えておこう...また、滋賀県・湖東町でのイベントは、地元の皆様のご協力で様々な催しも行われ、地元の名産品の販売や、地元ボランティアによるちびっ子ソーラーカー試乗会も行われ、小学生までを対象とした、ソーラーカーの試乗は、多数のお子様を楽しませていた。この催しで、小さなお子さんが少しでも「環境」に対して、今後考えてくればと、実行委員会の役員は願っておりました。そして、昨年度の特別企画として単3乾電池でWEMを如何に速く走らせる事が出来るかを競う「オキシライド乾電池レース」がエキジビションで行われた。本当に乾電池であるエコノムープが動くのか？と関係者も心配していたが、関係者の不安はすぐ消し取られ、オキシライド乾電池のパワーも素晴らしく、レーススピードに及ばないものの、それに匹敵するスピードを出し、観戦者・関係者の度肝を抜いた内容となった。このエキジビションレースにはCMで走行しているオキシライド乾電池カーも参戦し善戦していた。また、燃料電池の技術躍進もあり、ラジコンカーは昨年度の倍の台数の参加があった。この様に第2回目のECO CAR FESTA 2004も盛況に終了し、2005年度は最初で最後の走行となる神戸空港のローディングエプロン（旅客機待機場場）で第3回大会が開催された。生憎の雨天というコンディションの中、開港前の空港パレットでの競技で、大いに盛り上がる内容となった。そして、2006年度は再びクレフィール湖東に戻り、第4回大会が開催され、過去の開催から取られたデータをベースに、過去最高の周回数を数えるなど性能UPを垣間見るイベントとなった。さぁ、2007年度は新開催地「泉天津フェニックス」に会場を移しイベントの開催を迎えようとしている！



2006年度実績

1. 名称 エコカーフェスタ2006 【英文 Eco Car Festa 2006】（第5回湖国ソーラーカー・EVフェスタ in 湖東・滋賀）
2. テーマ 未来の子供達に青の地球を～Key to the future「地球の温暖化が見えてきた」
3. 日程 2006年4月1日（土）～2日（日） 2日間 4/1 8:00～17:00 4/2 7:00～16:00
4. 会場 クレフィール湖東（交通安全研修所） TEL. 0749-45-3872 〒527-0102 滋賀県愛知郡湖東町平柳2-2-3
5. 主催 エコカーフェスタ2006実行委員会
6. 共催 ワールドエコノムープ湖東・滋賀実行委員会・日本オートスポーツクラブ
7. 後援 内閣府、文部科学省、環境省、国土交通省、滋賀県、滋賀県教育委員会、東近江市、東近江市教育委員会、（社）日本自動車連盟 関西本部、日本太陽エネルギー学会、日本EVクラブ、四国EVチャレンジ委員会、クリーンエナジーアライアンス
8. 協力 クレフィール湖東、JAF加盟クラブ ツーアンドフォー・スポーツ、JAF加盟クラブ クラブ・スーパースペシャルステージ、クレフィール湖東 救急班
9. 協賛 大誠テクノ株式会社、ダンロップファルケンタイヤ株式会社、豊田まちづくり株式会社
10. 大会事務局 エコカーフェスタ2006開催実行委員会
〒542-0062大阪府中央区上本町西5-1-6寛永ビル5F TEL. 06-6761-0248 FAX. 06-6761-0067
E-Mail info@2and4.co.jp、URL <http://www.2and4.co.jp/ecocarfeستا2006/>
11. 開催費用 5,554,600円（別紙詳細）
12. 取材媒体 滋賀報知新聞社、京都新聞社、朝日新聞滋賀支局、愛知工科大学広報課、東近江市KCNチャンネル、滋賀県広報局、びわ湖放送、毎日放送、東海大学広報課、日本太陽エネルギー学会広報課、ホンダテクニカルカレッジ関西学生課、豊田市役所推進課
13. 報告 2日目の日曜日は残念ながら雨になってしまい、メインイベントのソーラーカー8時間耐久レースは6時間に短縮され行われた。競技中は1件の事故もなく今年度も目標である地球温暖化の阻止、皆で考える環境教育、低公害車の大量普及、環境ビジネスの確立など、又、参加者がそれぞれで出来る環境意識の向上などが全国へ発信され目標は達成された。次回大会でまた会う事を誓い終了した。

以上

来場者数

| | 4/1(土) 晴 | 4/2(日) 曇・大雨 | 合計 |
|---------|--------------|--------------|---------|
| 参加チーム | 43 チーム 513 名 | 43 チーム 660 名 | 1,173 名 |
| 関係者 | 53 名 | 86 名 | 139 名 |
| VIP・ゲスト | 14 名 | 16 名 | 30 名 |
| ボランティア | 15 名 | 15 名 | 30 名 |
| 一般来場者 | 1,016 名 | 2,119 名 | 3,135 名 |
| 取材メディア | 6 社 18 名 | 12 社 36 名 | 54 名 |
| 合計 | 1,629 名 | 2,932 名 | 4,561 名 |

ご協賛要項

冠協賛

大会の冠スポンサーとして最大限のPR効果・拡販効果を見出せます。

協賛金 1,000,000円（税別）

お支払方法は別途ご相談を承ります

ご協賛特典

冠協賛として CUP や PRESENTS として露出いたします
貴社のロゴをイベントロゴとして使用いたします
露出対象...イベント全て
製作いたします印刷物に貴社ロゴを露出
製作するプログラムに貴社広告ページ1頁ご提供
表4・A4サイズ・4Cカラー・1頁
データは貴社のご手配
ステージなど製作物に貴社名掲出
出展スペースご提供
その他

ご協賛要項

イベント協賛

イベントの協賛社としてPR効果・拡販効果を見出せます

協賛金 315,000円（税別）

お支払方法等は別途ご相談を承ります
詳細はお問い合わせ下さいませ

ご協賛特典

プログラムに貴社広告ページをご提供
表2、表3、中ページ4Cカラー・1頁ご提供いたします
製作いたします印刷物に貴社ロゴを露出
ステージバックパネルなど製作物に貴社名掲出
内容は主催者一任とさせていただきます
出展スペースをご提供
その他

ご協賛要項

イベントの出展社としてご参加下さいませ！

出展料 20,000円（税別）

お支払は現金書留もしくは振込みでお願い申し上げます。

テントスペース間口6m×奥行き5mご提供

展示車両はスペースの前に展示

内容は自由

ご出展特典

WEBページに貴社名を掲出